

中津市立南部小学校

学力向上プランの概要

- ① 平成31年度全国学・大分県の学力調査の分析結果から明らかになった課題
 - ・ 全国の調査では、国語・算数では、知識・活用ともに県平均以上であった。特に国語の書く能力が、県平均を11.3ポイント上回り良い成績であった。
 - ・ 県の調査では、3教科の知識・活用ともに県平均以上であった。特に国語・算数の活用においては平均を大きく上回る。国語は書く能力が特に高い。理科は、自然観察の項目だけが少し低い。
 - ・ 低位層の児童は、国語では、漢字の復習、特に算数では、1, 2年での計算の基礎の徹底と4年生までの学習の定期的な復習が必要である。
 - ・ 質問紙調査から自尊感情がかなり高く、規範意識・友だちとの信頼関係・学習習慣・思いを伝える力が県平均よりも高い。
- ② 授業改善の5点セット
 - 【授業改善テーマ】
自分の考えやわけを表現できる子の育成（思考力・判断力・表現力の育成）
 - 【授業改善の重点】
自分の考え方やわけを表現し、相手にわかりやすく伝え合う手だての工夫
 - 【取組指標】
1日1回以上、授業でキーワードの掲示を行い、JKタイム、MKタイムの時間を確保し、まとめ・振り返りを自分の言葉で書けているかをチェックする。
- ③ 家庭・地域との協働
 - 家庭…親学のススめ運動をする。
 - 地域…学校公開日に授業参観する。

効果のある取組事例

- ① 問題解決的な授業の推進
 - MKタイム（みんなで考える時間）の工夫
 - ・ 学年に応じた聴く態度の醸成
 - ・ 意見をつなぐための「話型」の活用
 - ・ 視点となる思考類型カードを示し、焦点化した話し合い
 - 「書く」時間の確保
 - ・ 「まとめ」「振り返り」は、キーワードを活用して自分の言葉で書く。
 - 低位層の児童を巻きこんだ授業と学習支援
 - ・ キーワードを提示し、学習の見通しを持たせる。
 - ・ ヒントカードの提示（ヒントコーナー）
- ② 基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - ・ 「ゆきちタイム」で、計算問題（100マス計算など）・言語問題・活用問題の実施
- ③ 家庭学習の取組
 - ・ めあてを持った「自学」の実施
 - ・ 週末国語(NIEプリント・活用問題)、隔週末算数(活用問題)の実施
 - ・ 月末理科プリント(理科用語)の実施

参 考

授業における取組

- ・ 思考力・判断力・表現力の育成
- ・ 指導方法や指導形態の工夫
- ・ 校長の日常的な授業観察と互見授業
- ・ 新大分スタンダード等の徹底
- ・ 教科担任制の導入（小学校）
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ・ 児童生徒の学習意欲を向上させるための工夫
- ・ 学習規律の徹底
- ・ 児童生徒による授業評価の実施

授業以外の取組

- ・ 授業以外における学習活動
- ・ 読書活動の充実
- ・ 校内研修などによる授業改善
- ・ 家庭や地域住民との連携・協力
- ・ 先進地等の取組の積極的な導入
- ・ 「タテ持ち」の実施（中学校）
- ・ 家庭学習の取組
- ・ 児童生徒の学習環境への配慮
- ・ 学校評価
- ・ 学校と児童生徒や保護者との信頼関係
- ・ 校内や近隣校との教科部会の実施